

タイトル	地域と共につくる古墳公園での活動
名称（学校・地域）	伊那市立東春近小学校
日時・場所等	通年
ホームページアドレス	http://www.ina-ngn.ed.jp/~e-haru/

老松場古墳公園での活動



子どもたちの願いが新発見へ

平成27年、当時の東春近小学校6年生が、地域の〈老松場の会〉の皆様と協力して、古墳公園を整備しようと活動が始まった。当初、子どもたちは、公園内に遊具をつくりたいという願いがあった。遊具をつくったり、公園内の階段を作ったり整備をしているなかで、小高い古墳に興味をもち、学芸員の方の指導で測量調査を行った。その測量図から、上伊那では、最も古い前方後円墳の可能性がわかることがわかり、今年度、関西大学が測量を行うことになった。

大好きな老松場での活動

それから3年間〈老松場の会〉の皆様と「椎茸栽培」「苗木植樹」「野菜作り」「竹をつかって門松作り」などの活動を行ってきている。

低学年の子どもたちも、老松場公園が好きで、基地作り、春探し、秋探しなど生活科や総合的な学習の時間を使って活動を行っている。



今年度は、老松場の広い畑で、なかよし学年でさつまいもづくりをした。これから、全校で児童会主催の焼き芋大会を計画している。

また、6年生は先輩が調べた老松場古墳の歴史物語を演劇にしようと外部の演劇アドバイザーから指導を受けながら、脚本作り、大道具作り、衣装作りなどのグループに分かれて取り組んでいる。3学期に劇の発表を計画している。